７．北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (北陸)	◎	－	－	－
	○	スーパー（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルス対策の外出自粛のため、スーパーに客が集中している。また、一度の買上点数が多く、客単価が大きく伸びているため、来客数の伸び以上に売上が大きく伸びている。
	○	スーパー（総務担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、来客数は減っているものの買上点数が増えている。
	○	家電量販店（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため営業時間を短縮しているが、必要な品を購入しておきたい客が多く来店している。
	□	＊	＊	＊
	▲	家電量販店（本部）	単価の動き	・地域的に新型コロナウイルスの影響は大きいと考えるが、生活必需品となる家電では来客数への影響は少なく、悪いなりに持ちこたえている。
	▲	乗用車販売店（従業員）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響により、営業活動が思うようにはできず、厳しい状況が続いている。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・不要不急の外出禁止で当然人出は極端に減少している。商店街の多くは休業要請の対象外業種のため頑張って営業している店が多いが、閑古鳥が鳴いている。この状況で警察は駐車禁止の取締りを強化している。対面販売の店がほとんどで、テレワークは不可能である。これも時代の流れか、にっちもさっちもいかない現状である。
	×	商店街（代表者）	お客様の様子	・大型デパートが休業し、新型コロナウイルスの感染拡大による不安が広がっている。市内の病院関係クラスターはとどまる様子がなく、疲れ気味である。当面は我慢比べであるが、商店街は体力的に弱く、長引けば営業を終了する店も出てくると考える。
	×	商店街（代表者）	それ以外	・３月の３連休以降は人通りが激減している。４月７日の緊急事態宣言を受けて店頭販売を休業している。新型コロナウイルスの影響で、年間を通じて一番の稼ぎどきであった花見からゴールデンウィークを休業せざるを得ない状況になったことは、経営にとって致命的な出来事であると考える。
	×	一般小売店［精肉］（店長）	販売量の動き	・今月中旬から食品フロア以外はクローズになったことで、来客数が減っている。
	×	一般小売店［事務用品］（店員）	来客数の動き	・外出自粛要請の影響により来客数が大幅減となっている。
	×	一般小売店［鮮魚］（役員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響でいまだかつてない落ち込みになっている。昭和天皇の崩御のときや東日本大震災を完全に超えている。
	×	一般小売店［書籍］（従業員）	販売量の動き	・来客数も販売量も全て悪い。
	×	百貨店（売場主任）	来客数の動き	・緊急事態宣言を受け、中旬以降は地域の利便性を確保するため、食品売場のみ営業している。連日開店直後の１時間は、レジ待ちの行列が発生するなど混雑が目立つ。しかし、食品売場が好調に推移しても、館全体の売上をカバーできる額ではない。食品売場のみの営業では赤字である。
	×	百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・委託している売場やショップの運営が継続不可能になったり、取引先からの販売員や商品の供給が困難になったり、売場運営そのものが形にならなくなってきている。
	×	百貨店（販売担当）	それ以外	・食品売場以外は新型コロナウイルスの影響により休業中である。現時点では５月６日までだが、延長の気配があり、今後も苦戦が予想される。食品は、休業当初70%強の実績があったが、下旬には前年比で50～60%にダウンした。来客数は前年比で15～20%と大幅にダウンしている。食品以外の販売は基本的に中止しているが、売場を変えて販売している手作りマスクや除菌商品は好調に推移している。

	×	スーパー（店長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大をめぐり、県の外出自粛要請や一部業種への休業要請で、雇用及び収入の先行きが見通せない状況である。消費は必要最低限に抑えられている様子である。
	×	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で近くの学校が休校になり、来客数が激減している。
	×	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で日を追うごとに来客数が減少している。
	×	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスによる外出自粛で来客数が大きく減少している。客単価は上昇しているが、来客数の減少が上回っている。
	×	コンビニ（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で週末の売上、次いで20時以降の夜の売上が激減している。コンビニは影響が少ないのではないかと外部からよく聞かれるが、売上単価や利益率の高い商品は週末や夜の時間帯に多く売れるため、今は必要最小限の商品のみが売れている状況である。売上は２割減、利益は４割減程度になっている。売上もさることながら、利益の減少が致命的である。
	×	コンビニ（店舗管理）	来客数の動き	・大雪や洪水の災害時と比較しても、来客数は激減している。
	×	衣料品専門店（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染が拡大し、人が街に出られない状況になっている。
	×	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響でほとんどの店が閉店しており、売上はゼロである。このような経験は今までしたことがない。
	×	衣料品専門店（総括）	それ以外	・外出の自粛で路面店、ショッピングセンター内の店舗共に客が全く来ない。
	×	衣料品専門店（店舗運営）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、時間短縮による営業やショッピングセンターの休館により、来客数が大幅に減少している。
	×	家電量販店（店長）	それ以外	・新型コロナウイルスによる影響で客が求めている商品の欠品が多い。来客数に対して売上が伴っておらず、販売ロスが多い。
	×	乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・月初より新型コロナウイルスの感染者数が県から発表されており、数が増加するにつれ、来場者数が少なくなっている。訪問面談も困難になり、販売は大変難しい状況が続いている。客もこの時期に車の購入はしないとの返事が多く、売上は大変悪くなっている。
	×	自動車備品販売店（役員）	来客数の動き	・来客数は例年より減少していたが、県の緊急事態宣言が出てからは更に減少している。先週末は閉店している店舗が多くなり、行き場を失った客が集中したため混み合う時間帯があったが、極力出費を抑えたいのか、購入点数は減少している。
	×	その他専門店［酒］（経営者）	販売量の動き	・とにかく人が来ない。業務用の納入先でも店内に入って食べる人は少なく、元々持ち帰りをやっていたことから、今は重点的に持ち帰りで対応している。結局酒類卸店には何の売上もないということである。
	×	その他小売［ショッピングセンター］（統括）	それ以外	・県内での新型コロナウイルス感染者の発生により、客の商業施設への警戒感が強まり、来客数が大きく減少した。その後、全国への緊急事態宣言の発令に伴い、食料品と一部専門店を除き休業している。
	×	高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響により４月初旬から営業を自粛しているため、売上は例年の10％に満たない状況である。
	×	一般レストラン（店長）	それ以外	・４月17日より店舗は休業しており、テイクアウトや配達のみの営業になっている。
	×	一般レストラン（統括）	お客様の様子	・４月７日に大都市圏での緊急事態宣言発令後、外出自粛ムードが高まり、外食産業はますます客が来店しない状況となった。また、その後北陸の新型コロナウイルスの感染者率が高いことから、県で緊急事態宣言が出て、18日の週末からは特定の施設だけでなく、ほぼ全ての施設が休業となっている。飲食店は20時までの営業時間制限が設けられ、消費者はふだんの買物以外に外出することがなくなっている。

	×	スナック（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で20日くらいまでは３～４時間短縮して開店していたが、週に１～２人といった来客数では家賃分も出ない。見通しが立たず、不安だけが募る状態である。前月の売上は２～３割である。
	×	観光型旅館（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、４月の営業日数は９日間である。前年比で96％の売上減である。４月12日～５月15日までの１か月以上を休館にしている。
	×	観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・前年比で総売上は42％、宿泊人数は45％、宿泊単価は94％である。新型コロナウイルスによるキャンセルの影響が大きい。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・外出自粛の要請により、宿泊、宴会、レストランを休業したため売上がなくなっている。
	×	旅行代理店（所長）	販売量の動き	・団体、個人旅行共に６月くらいまで皆無に等しい状況である。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、駅では電車から降りてくる客が少なく、昼間は外出を避けていることから利用客がなく、夜の繁華街に至っては全く人出がない。タクシーの仕事はなく、売上は３か月前と比べて４分の１に激減している。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で売上が３分の１以下に減少している。夜は全く人がおらず、仕事が１回できれば良いといった感じである。
	×	通信会社（職員）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染が拡大している。
	×	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で販売に制限が掛かり、販売店としての利益確保が難しくなっている。
	×	通信会社（店舗統括）	販売量の動き	・来客数はそれなりに多いが、端末の販売数は下降している。
	×	通信会社（役員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言を受け、営業を自粛しており、契約数が例年の半分である。
	×	テーマパーク（役員）	来客数の動き	・現在、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため休業している。３か月前に比べて全く営業収入がない状況になっており、悪化している。
	×	パチンコ店（経理）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響による休業要請があり、休業している。
	×	その他レジャー施設［スポーツクラブ］（総支配人）	お客様の様子	・会員の半数以上が、４月から３か月以上の期間で休会届を出しており、第１四半期の売上は50％ダウンしている。公共施設の受託業務や行政からの健康教室も全て最低３か月間のキャンセルが決定しており、全く売上が見込めない状態である。
	×	美容室（経営者）	それ以外	・美容室を経営しているが、４月は従業員が新型コロナウイルスに感染することを恐れて、半分程度しか店を開けていない。資金繰りは一挙に厳しくなっている。
	×	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・今月は２～３か月前から商談していた客との契約が進み、目標を達成することができたが、現在は新規で打合せをする客はほぼゼロの状態である。イベントもできないので新たな営業活動を模索している。
	×	住宅販売会社（従業員）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響でテレワークとなっている。人に会えず、営業は全く仕事にならない。訪問するどころか外出もできず、見通しが立たない。
	×	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、人や物が動かない。
	×	住宅販売会社（営業）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大に対する緊急事態宣言により、完全に客足が止まっている。消費マインドが冷え切っている。
企業動向関連 （北陸）	◎	－	－	－
	○	－	－	－
	□	化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注状況については変わらず推移している。
	▲	プラスチック製品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスのまん延による消費の落ち込みや買い控えなど、心理面のみならず実態面でも大きな影響を招いており、受注量も大幅な減少傾向にある。
	▲	司法書士	取引先の様子	・官庁や金融機関でも勤務者を減らしており、案件の完了に時間が掛かっている。仕事としては融資を受けるために必要な定款や議事録などの作成依頼が多い。

	×	食料品製造業（経営企画）	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言に伴う外出自粛要請の影響により、小売用チャネルの受注が好調である一方、業務用チャネルの受注は激減しており、全社トータルでは大幅な前年割れで推移している。
	×	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大で状況が一変している。生産状況については、大手のアパレルメーカーでキャンセルが出ており、用途を問わず減産という状況になっている。
	×	一般機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、欧米や国内での受注が止まっている。
	×	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・海外各国での移動制限などの影響があり、輸出を中心に需要が減退するとともに、各自動車メーカーの生産停止の影響もあり、受注が大きく減少してきている。
	×	精密機械器具製造業（役員）	取引先の様子	・月後半に影響が出だした前月に比べ、４月は月初より新型コロナウイルスの対応による閉店率が上昇している。そのため、客によりばらつきは大きいものの、店頭での販売数はかなり落ちている状況である。
	×	建設業（経営者）	競争相手の様子	・建設工事については何とか手持ち工事を消化しているが、３か月前に比べて新規の発注がみえておらず、相当暇な状況である。
	×	建設業（役員）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響が大きい。
	×	通信業（営業）	受注量や販売量の動き	・２～３月で受注した案件の工事完了により、当月の売上高は前年同月比で70％を確保したが、新型コロナウイルスの感染拡大で営業活動は自粛状態である。新たな見込み案件は皆無である。
	×	金融業（融資担当）	取引先の様子	・融資の相談件数は増加傾向である。緊急事態宣言による休業要請が拡大してからは、新規融資に加えて、条件変更の相談が増加している。各経営者も先行きが不透明であるとの見解を示しており、融資を受けたことがない事業者からも融資相談が続いている。
	×	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・現在は個人客も法人客も、情報や問合せが止まっている状況である。
	×	税理士（所長）	取引先の様子	・観光業、バス事業、観光に関連する小売業等は壊滅と言っていいぐらい、過去に例のない業績が続いており、非常に大変な状況である。また、建設業でも工事が延びたり中止になったりし、製造業も先行きの見通しが悪くなりつつある。建設業も製造業も全体的に２～３割減で、非常に厳しい状態である。
雇用関連（北陸）	◎	－	－	－
	○	－	－	－
	□	人材派遣会社（役員）	求職者数の動き	・依然として派遣スタッフの登録者数が減少している。
	▲	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・雇用の募集は継続して発生しているものの、求職者の不安が払拭できず、応募者や登録者の数が半分以下に減少している。
	▲	民間職業紹介機関（経営者）	周辺企業の様子	・生産調整に入った機械製造メーカーが一時帰休を打ち出したことで、この先の失業につながらないかと危惧している。
	×	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・掲載する会社数の落ち込みが激しい。
	×	新聞社［求人広告］（営業）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの影響が大きすぎる。活動を止めているなか、良くなる兆しがない。
	×	新聞社［求人広告］（担当者）	それ以外	・市井レベル、行政レベル共に先行きが全くみえない。現状は時間に任せるしかないというのが共通認識ではないかと考える。
	×	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの影響により、多くの企業が休業を実施したり計画したりしている。
	×	職業安定所（職員）	採用者数の動き	・３月の有効求人倍率は1.66倍で、前年同月比で0.45ポイントの大幅な減少となっている。産業別の前年同月比は、情報通信業で31.3％増、教育、学習支援業で68.3％増だが、製造業で40.7％減、卸売業、小売業で27.1％減、宿泊業、飲食業で52.0％減となっている。
	×	学校［大学］（就職担当）	求人数の動き	・企業の採用活動がほぼ止まっている。